

エリザベート王妃国際コンクール2025ファイナリスト

聴衆を熱狂させた

「もうひとりの
勝者」緊急初来日！

「上海の若い才能トップ10」に選出されるなど
幼少の頃から並外れた才能が認められてきた天才

ジアシン・ミン ピアノ・リサイタル 闵嘉欣 钢琴独奏音乐会

2026

1/14 19:00 開演
(18:30 開場)
〈水〉

 浜離宮朝日ホール
(大江戸線「築地市場駅」すぐ)

絶 賛 発 売 中 !!

全席指定

一 般 4500円
学 生 (24歳以下) 2000円 ※当日要証明書
枚数限定 SS席 ~~6000円~~ ■ 完 売 ■

※就学前のお子様のご入場はご遠慮いただいております。
託児サービスをご利用ください。

イベント託児・マザーズ (要予約) 0120-788-222

Program

D.スカルラッティ: ソナタ 変ホ長調 K.475、ハ短調 K.58
シューベルト: ピアノ・ソナタ第19番 ハ短調 D958
ドビュッシー: 《ベルガマスク組曲》
プロコフィエフ: ピアノ・ソナタ第2番 ニ短調 Op.14

チケット
取扱

朝日ホール・チケットセンター
03-3267-9990 (日・祝除く 10:00-18:00)
<https://asahi-hall-ticket.jp/>

ネット
予約

● オフィス山根



● 朝日ホール・チケットセンター



【主催】オフィス山根 / 朝日新聞社 / 浜離宮朝日ホール
【お問合せ】オフィス山根 contact@officeyamane.net

ギレリス、ミケランジェリ、アシュケナーズなどの巨匠を輩出してきた エリザベート国際コンクール2025で彗星のごとく現れた天才

聴衆が熱烈に支持した才能、初来日！



ベルギーの首都ブリュッセルで今年5月に開催されていたエリザベート国際コンクールのファイナル4日目、ジアシン・ミン演奏直後の聴衆の熱狂はすさまじいものだった。壮絶と言って良い見事な演奏に応え、その場の全員が総立ちとなり激しいブラヴォーの歓声が会場のパレ・デ・ボザールに轟いた。このとき、少なからぬ人が彼女の優勝を、そうでなくとも上位入賞を確信していただろう。ところが蓋をあけてみれば優勝はおろか上位6名までに名前が呼ばれることはなく、会場は再び騒然となる。入賞者の一人としてついに名前を呼ばれた際、聴衆は彼女の支持を鮮明に表明。完全なるスタンディングオベーション、大喝采、そして巨大なブラヴォーの大歓声が再度ホールに渦巻いた。のみならず審査への抗議の声さえも飛んだ。

入賞を果たせず失意もあっただろう。しかし強烈な声援に励まされたかジアシン・ミンは満面の笑みとともにステージ上に姿を現すと、聴衆に向かって笑顔で颯爽と手を振ってみせた。なんとも言えない感動の一瞬だった。聴衆のボルテージはさらに上がり、ひときわ大きな歓声が響く……。全身に鳥肌がたった。そう、この瞬間、もう一人の勝者がこのコンクールから生まれたのである！

地元ベルギーの放送局は即座に彼女のため特別リサイタルを開催し、チケットはもちろん瞬間蒸発した。そして表彰式直後、弊社が直接会場で本人に声をかけ緊急来日公演がここに実現する！聴衆が熱烈に支持した天才の演奏は絶対に見逃せない！ピアノファンは全員、浜離宮朝日ホールに結集！！

Jiaxin Min, piano

ジアシン・ミン ピアノ

関嘉欣 鋼琴

上海生まれ。2025年にエリザベート王妃国際音楽コンクールで入賞。国際的な注目を集めた。音楽性に富み説得力ある演奏はベルギー国内外の聴衆から高く評価された。セミファイナルで演奏したモーツァルトの協奏曲の演奏は2025年のコンクール公式録音に選ばれ、リリースが決まっている。またコンクール直後、ブリュッセルのフラジェにおけるソロリサイタルに急遽招待される。またこの年、ロンドンの王立音楽大学において優れたソリストのためのアーティスト・ディプロマを修了した。同大学ではドミトリ・アレクセーエフとヴィタリー・ピサレンコに師事した。

幼少の頃から数々のコンクールで入賞を重ねてきた。ピアノを始めてわずか2年目で上海ヤングアーティストコンクール第2位、翌年は上海芸術祭で優勝。2002年にはテレビ番組「ファイブ・スター・トーナメント」に出演し、10週連続でチャンピオンの座を守った。2004年には上海の「若い才能トップ10」に選出されている。その後もフォンテーヌブロー音楽美術学校など、著名なフェスティバルへの出演を重ねている。また、上海音楽院の創立57周年および60周年記念演奏会において、優秀な若手アーティスト代表としてオーケストラと共演した。

2012年、上海FM94.7の紹介により上海コンサートホールで全国デビュー。その後スペインでのコンサートに出演し、国際的なキャリ

アをスタートさせる。以来、クーパー・ピアノ・フェスティバル、クナイゼル・ホール、タオス音楽学校、フォーカス！フェスティバル、フォンテーヌブロー音楽美術学校など、著名なフェスティバルへの出演を重ねている。また、上海音楽院の創立57周年および60周年記念演奏会において、優秀な若手アーティスト代表としてオーケストラと共演した。

4歳でピアノを始め、2005年に上海音楽院附属の上海小音楽学校に首席で入学。副校長チョウ・ティン教授に師事した。2008年には入試免除で上海中等音楽学校へ進学。在学中は香港アジア国際ピアノコンクール優勝、第3回KAWAIアジアピアノコンクール第2位を受賞し、リリー・ニウ奨学金や上海スター・プログラム奨学金など多くの奨学金を得た。

高校卒業時、複数の著名音楽院から全額奨学金のオファーを受ける。そのなかからニューヨークのジュリアード音楽院を選び、セルゲイ・ババヤンおよびマッティ・ラエカリオ教授のもとと修士号を取得した。その後ロンドンに渡り、ロンドン王立音楽大学でアーティスト・ディプロマを取得した。同大学ではドミトリ・アレクセーエフとヴィタリー・ピサレンコに師事した。またヨハネ・カプリンスキー、ロバート・レヴィン、マルク＝アンドレ・アムラン、ロバート・マクドナルド、フィリップ・ピアンコーニといった著名な音楽家たちにも学んだ。